



2018年度 『多言語商品情報プロジェクト』の報告

2019年7月5日

製・配・販連携協議会
多言語商品情報プロジェクト

目次

はじめに

1. 実施概要

- (1) これまでの実施概要
- (2) 全体概要
- (3) 2018年度の実施概要
- (4) 小売りプロジェクトチームへの参画

2. 事業概要

- (1) 全体概要
- (2) 利用シーン
- (3) 製・配・販それぞれの立場での期待効果
- (4) 2018年度末の概況
- (5) 運用体制

3. 会員制度

- (1) 全体概要と会員サービス
- (2) 問い合わせ先など

4. 今後の構想

おわりに

■ 背景：

- 訪日外国人客は、2018年には3,000万人に達し、「明日の日本を支える観光ビジョン」において、2020年に4,000万人、2030年に6,000万人の目標が設定されています。
- 訪日外国人客の旅行消費額に占める買い物代の割合は、約32.6%*を占め、訪日外国人客の増加に伴って、買物消費額も 大幅な増加が見込まれます。ところが、訪日外国人客が日本でショッピングをする際には、言語の問題（説明・価格表示）で不満や心配を感じるケースが多くなっています。

*：「訪日外国人の消費動向 平成30年7月～9月期（1次速報）」国土交通省 観光庁 より

■ 目的：

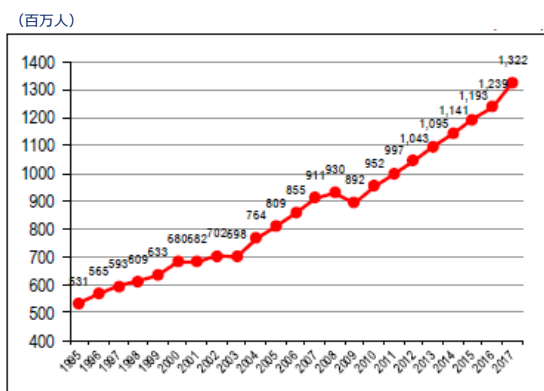
- こうした状況に対し、訪日外国人客向けの商品情報提供による販売促進、メーカー発信の正確な商品情報の収集／提供サイクルの確立をめざします。
- 将来的には増大し続ける訪日外国人の買い物支援に向けたオールジャパンによる多言語化の取組みの一環としていきます。

（補足）背景（1）

■ 訪日外国人客に関するデータ



世界の海外旅行者数の推移

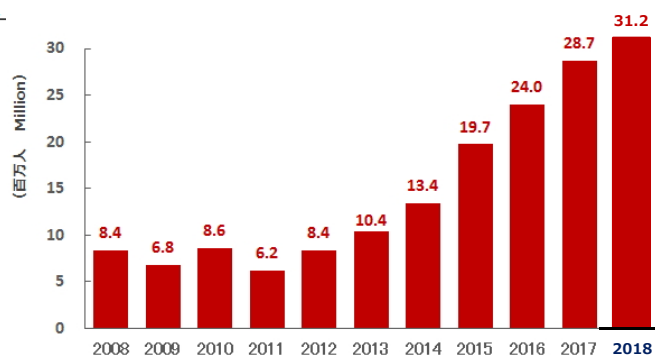


Source: World Tourism Organization (UNWTO) ©

世界の海外（国際）旅行者数は8年連続の増加。



訪日外国人客数の推移



出典：日本政府観光局 Source: Japan National Tourism Organization

2018年には、3,000万人を突破した。

(補足) 背景 (2)

■ 費目別購入率及び購入者単価 (主要国籍・地域別)

購入率 (その費目を購入した人の割合) が最も高い費目は「菓子類」であり、67.5%が購入。
次いで「化粧品・香水」の購入率40.6%と高い。

国籍・地域別では、「菓子類」では韓国、「化粧品・香水」では中国、
「医薬品」では台湾と中国の購入率が高い。

費目	国籍・地域		全 国 籍 ・ 地 域		韓 国		台 湾		香 港		中 国	
	購入率	購入者 単価 (円)	購入率	購入者 単価 (円)	購入率	購入者 単価 (円)	購入率	購入者 単価 (円)	購入率	購入者 単価 (円)	購入率	購入者 単価 (円)
菓子類	67.5%	8,336	83.0%	5,803	73.5%	8,561	62.5%	9,247	70.6%	11,207		
酒類	19.0%	6,978	24.0%	3,999	16.6%	4,553	13.6%	6,465	13.3%	11,917		
生鮮農産物	6.4%	5,245	1.7%	6,073	13.6%	3,992	17.5%	3,598	4.8%	8,308		
その他食料品・飲料・たばこ	33.5%	8,751	33.8%	3,985	38.0%	7,028	38.9%	9,163	32.6%	12,860		
化粧品・香水	40.6%	29,040	31.9%	6,448	35.2%	12,972	45.0%	18,991	81.6%	51,799		
医薬品	35.3%	13,830	41.7%	6,115	56.4%	15,265	39.0%	11,426	49.0%	21,740		
健康グッズ・トイレタリー	14.8%	17,213	8.7%	7,359	27.8%	16,488	20.4%	9,222	22.6%	27,499		
衣類	34.4%	17,551	22.0%	12,667	36.5%	12,462	52.4%	16,487	35.3%	28,265		
靴・かばん・革製品	19.7%	23,511	8.5%	11,675	19.5%	15,937	31.0%	18,709	26.3%	40,268		
電気製品	9.6%	28,796	2.0%	11,166	16.4%	22,719	5.1%	22,234	20.4%	36,993		
時計・フィルムカメラ	3.6%	59,984	1.3%	31,670	1.7%	9,434	2.2%	121,196	5.7%	114,551		
宝石・貴金属	1.5%	73,019	0.5%	27,670	0.7%	40,820	1.3%	39,932	1.9%	176,207		
民芸品・伝統工芸品	7.9%	10,802	3.0%	4,224	7.6%	9,427	6.0%	10,142	7.0%	13,923		
本・雑誌・ガイドブックなど	4.0%	5,627	2.6%	3,873	3.8%	5,135	5.4%	5,499	2.4%	8,074		
音楽・映像・ゲームなどソフトウェア	2.9%	14,122	2.0%	5,259	3.7%	16,301	3.0%	11,668	2.6%	19,152		
その他買物代	7.2%	14,905	10.3%	9,198	3.8%	8,892	5.2%	41,845	2.3%	26,523		

(「訪日外国人の消費動向 平成30年4月～6月期 報告書」国土交通省 観光庁 より)

1. 実施概要

1. 実施概要

(1) これまでの実施概要

- 2017年度の実運用開始に続き、2018年度はプロモーションと運用体制強化を進めました

	年 度	取 組 概 要	内 容
検討	2015年度	【商品情報多言語ワーキンググループ】 基本的な考え方の整理	－対応言語、提供内容項目 －共通インフラ基盤の方向性など
実験	2016年度	【商品情報多言語フィジビリティ・スタディ・プロジェクト】 店頭実証実験	－多言語対応用データプール環境開発 －モバイル端末用アプリ開発 －店頭実証実験
本格運用	2017年度	【多言語商品情報プロジェクト】 実運用の開始	－本番環境開発 －運用体制の整備 －普及推進方法の検討
	2018年度	会員拡大、利用者拡大、機能拡充	－各種プロモーション
	2019年度	ラグビーワールドカップ2019 日本大会向けに展開	
	2020年度	2020年東京オリンピック・パラリンピック 競技大会向けに展開	

7

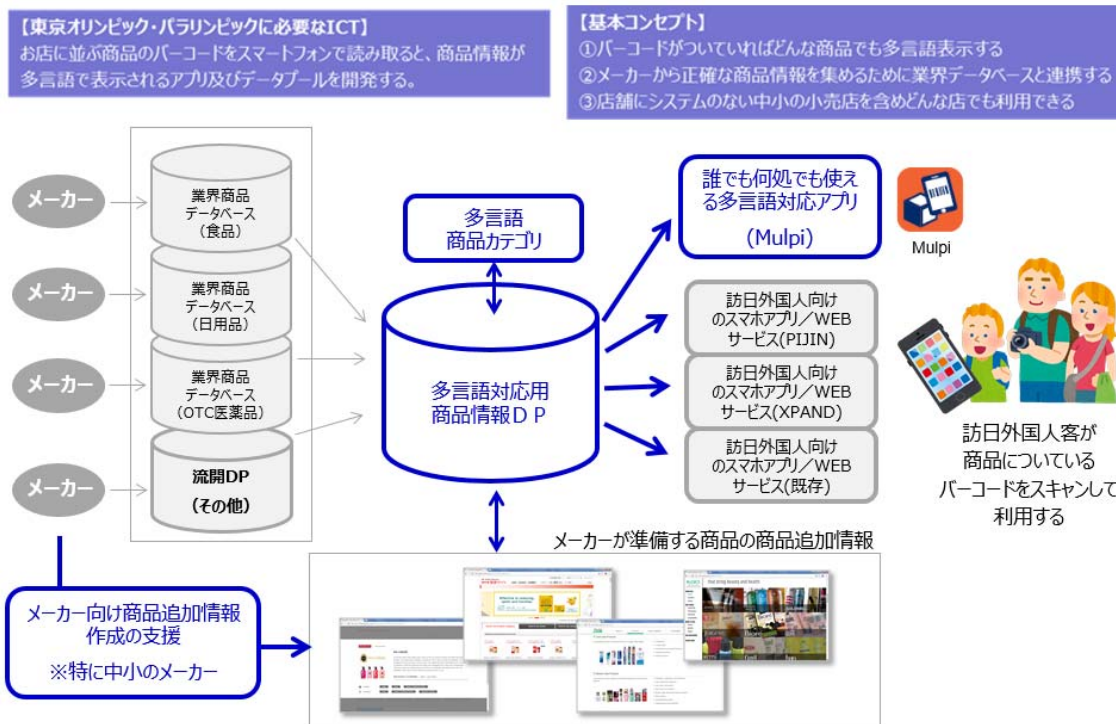
1. 実施概要

(2) 全体概要

2018年2月26日～ 運用開始

■ 訪日外国人客向けの多言語での商品情報提供

(信頼できるベンダーに商品情報を提供したい) 商品情報を適切に取扱できると認定した業者を「プロジェクト認定アプリベンダー」とし、それ以外のベンダーへの多言語DPからの情報提供はいたしません。



8

1. 実施概要

(3) 2018年の実施概要 : 運営・普及委員会

■ 運営・普及委員会

- 2018年10月4日 第1回全体会議
: フロント以外の経過報告、今後のフロント以外の進め方など
- 2018年12月4日 第2回全体会議
: 活動報告、今後のプロモーション活動の進め方など
- 2019年2月6日 第3回全体会議
: 活動報告、会員企業への報告内容など
- 2019年6月4日 第4回全体会議
: 活動報告、総会での報告内容など

運営・普及委員会のメンバー企業一覧（製・配・販・IT企業別五十音順）

味の素、花王、花王グループカスタマーマーケティング、キューピー、キリン、
第一三共ヘルスケア、大正製薬、ユニ・チャーム、ユニリーバ・ジャパン・ホールディングス、
ライオン、加藤産業、国分グループ本社、イオン、イズミ、サンドラッグ、
ファミリーマート、マツモトキヨシホールディングス、ジャパン・インフォレックス、
セルフメディケーション・データベースセンター、プラネット

9

1. 実施概要

(3) 2018年の実施概要 : プロモーション活動<1>

■ プレスリリース(2018年5月28日)

- 2018年5月18日: 日経新聞夕刊1面記事「訪日客 スマホで簡単検索」
- 2018年5月30日: 食品新聞「商品情報をスマホで」
- 2018年6月1日: 日本食糧新聞「商品情報を多言語で」
- 2018年7月15日: 流通&コンピューター「多言語商品情報提供サービスを開始」

■ 関連記事投稿&取材協力

- 2018年7月: PLANET vanvan 第119号 特集記事(6頁)
- 2018年8月: 流通&コンピューター 8月15日号(1頁)
- 2018年11月: 流通とシステム No.175(3頁)
- 2019年2月: 包装技術 2月号(6頁)

■ 多言語商品情報提供サービス・ニュース(メール・ニュース)

- 2018年5月28日: <第5号: プレスリリース>
- 2018年7月11日: <第6号: 総会報告>
- 2018年7月30日: <第7号: 連携報告>
- 2018年12月25日: <第8号: 小売PT活動報告>

10

1. 実施概要

(3) 2018年の実施概要：プロモーション活動<2>

■ イベント

- 2019年2月19日：GS1 Global Forum（デモ&紹介）

- 2019年3月5日～8日

：リテールテック J A P A N 2019

- セミナーにて多言語商品情報
プロジェクトの報告

- 流通システム開発センター・ブースにて
パネル展示 & チラシ配布

- 2019年3月15日～17日

：第19回 J A P A N ドラッグストアショー

- 主催者コーナーにてパネル展示

- 2019年5月27日：JSM-DBC年次報告会（東京）

- 2019年6月11日：JSM-DBC年次報告会（大阪）

- 多言語商品情報プロジェクトの紹介



11

1. 実施概要

(4) 小売プロジェクトチームへの参画 - 多言語対応協議会とは

■ 2020年オリンピック・パラリンピック大会に向けた多言語対応協議会：

東京2020大会の開催に向け、円滑な移動と安心・快適に滞在できる環境を整備するため、表示・標識などの多言語対応を、国の関係行政機関、関係地方公共団体、民間団体及び企業などが相互に連携・協働して取り組むことを目的として2014年に設置されました。

■ 小売プロジェクトチーム：

小売における多言語対応の3つの領域（店頭表示、接客コミュニケーション、商品情報）での統一ルールの策定やツールづくりを行い、おもてなし向上に向けた接客対応強化を小売業界全体で進めてまいります。

商品情報領域のツールとして、多言語商品情報アプリ（Mulpi）が、紹介されています。



12

1. 実施概要

(4) 小売プロジェクトチームへの参画 (1)

■ 東京都作成のDVDでMulpiが紹介されています。

東京都作成のDVD「外国人旅行者の気持ちになって歩いてみよう!」で、「多言語商品情報提供サービス Mulpi」が、紹介されています。外国人の視点から見た東京の多言語対応の好事例を紹介した約30分の映像です。そのなかで、Mulpiについても紹介されています。



<https://tokyodouga.jp/pdtMBZJyd4s.html>

■ 「小売業の多言語対応ガイドライン」で

Mulpiが紹介されています。

本ガイドラインは、小売業に特化して多言語対応を取りまとめたものです。小売業全体で、よりスムーズで効率的な多言語対応を促進し、訪日ゲストによりよいおもてなしの提供を目指すものです。そのためのツールの1つとして、製・配・販連携協議会の多言語商品情報プロジェクトが提供する多言語商品情報のスマートフォン専用アプリケーション「Mulpi(マルピ)」が、本ガイドラインの「商品説明分野における多言語対応」の中で紹介されています。



13

1. 実施概要

(4) 小売プロジェクトチームへの参画 (2)

■ 多言語対応協議会 小売プロジェクトチーム 会議体

- 2018年7月19日：小売プロジェクトチーム（PT）第3回連絡会
- 2018年11月27日：小売プロジェクトチーム（PT）第4回全体会
- 2019年3月22日：小売プロジェクトチーム（PT）第5回全体会

■ 関連フォーラム

- 2018年12月20日：多言語対応 ICT 化推進フォーラム
- 2019年1月29日：小売業の多言語対応フォーラム
- 2019年5月22日：小売業の多言語対応フォーラム
 - 多言語商品情報プロジェクトのチラシ配布 & 説明

■ 関連Mulpiユーザー調査

- 2019年1月26日～2月11日
巣鴨地蔵道商店街のドラッグストア
萬盛堂にて利用者にアンケート実施
(調査結果：次頁)



14

1. 実施概要

＜参考＞外国人へのMulpi 利用促進に関する調査結果について（1）

■ 本調査の目的

- 訪日外国人ゲストに対し、多言語商品情報提供プロジェクトが提供する、「Mulpi」の活用を促進するにあたり、プロモーション施策の方向性を検討するため、調査を実施

■ 調査の内容

- （1）調査期間：2019 年1 月26 日～2019 年2 月11 日
- （2）調査店舗：巣鴨萬盛堂薬局 六地藏店、分店の2 店舗

■ 調査方法

- 外国人の来店者に対し、別紙「商品情報アプリ(Mulpi)」を配付。アプリのインストールおよび対象商品（花王株式会社 めぐりズム）の詳細情報を確認いただき、使用感や必要な機能について、アンケート回答を頂きました。

15

1. 実施概要

＜参考＞外国人へのMulpi 利用促進に関する調査結果について（2）

■ アンケート結果（回答数：9 件）

- （1）国籍：7 カ国（アメリカ、フランス、アイルランド、インドネシア、タイ、中国、台湾）
- （2）多言語商品情報が買い物の役に立つか？：平均：2.7 点（4 点評価）
- （3）多言語で表示してほしい商品情報は何か？（複数回答可）
欲しい情報（回答数）：原材料・成分（5）、アレルギー成分情報（4）、
原産国・原産地（3）、使い方・使用上の注意（8）、
保存方法＜常温、冷蔵、冷凍など＞（8）、賞味期限・消費期限（1）

■ 多言語商品情報は「自分の端末」で見たいか？

- 8 名が「自分の端末にインストールして使いたい」と回答。

■ アプリ普及を目的としたプロモーションについて

- 小売店頭を活用したプロモーションは非常に有効であり、アプリの魅力を一定以上伝えることができる。一方で、対面での丁寧な対応（通訳含め）が重要である。
- 以前は、メーカー名、ブランド名などで商品が選ばれていた印象があったが、今回の調査で観察したところ、「使用方法、使用上の注意」や保存方法といった、裏面情報を非常に注意深く確認していることがわかった。

16

2. 事業概要

17

2. 事業概要 (1) 全体概要

■ 訪日外国人客向けの多言語での商品情報提供

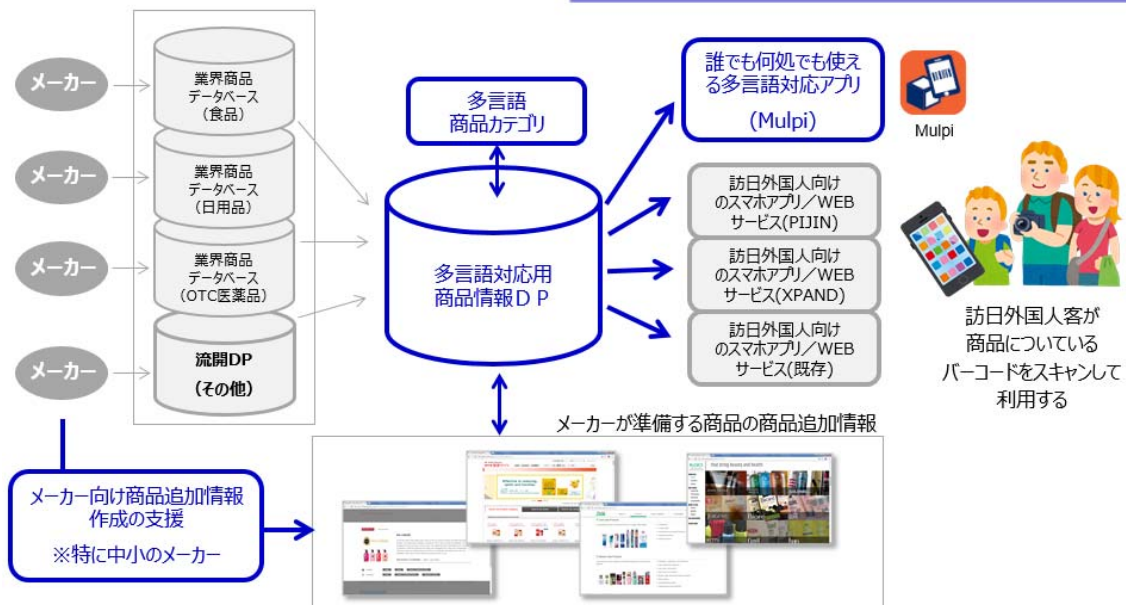
(信頼できるベンダーに商品情報を提供したい) 商品情報を適切に取扱できると認定した業者を「プロジェクト認定アプリベンダー」とし、それ以外のベンダーへの多言語DPからの情報提供はいたしません。

【東京オリンピック・パラリンピックに必要なICT】

お店に並ぶ商品のバーコードをスマートフォンで読み取ると、商品情報が多言語で表示されるアプリ及びデータベースを開発する。

【基本コンセプト】

- ①バーコードがついていればどんな商品でも多言語表示する
- ②メーカーから正確な商品情報を集めるために業界データベースと連携する
- ③店舗にシステムのない中小の小売店を含めどんな店でも利用できる



18

2. 事業概要

(2) 利用シーン

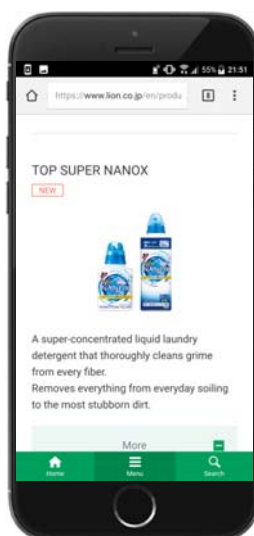
- 商品の情報を多言語で表示し、訪日外国人客のショッピングをお手伝いします



19

(補足) 商品追加情報の例

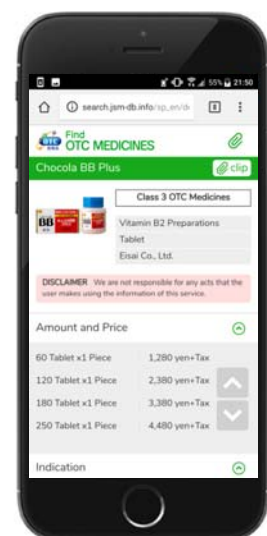
- 追加情報は、各社ホームページ、プロモーション映像など、自由な形式で表示できます。
- 追加情報は、関連他サービスへのリンクも可能です。



商品追加情報
(メーカーホームページ)



商品追加情報
(メーカーホームページ)



商品追加情報
(おくなり検索のページ)

20

(補足) アプリのダウンロード



iOS版はApp Storeで、Mulpiと検索！





Android版はGoogle Playストアで、Mulpiと検索！



21

2. 事業概要

(3) 製・配・販それぞれの立場での期待効果

訪日外国人は、あらかじめ購入予定商品を決めている従来のスタイルから、店頭で商品を見定めて購入するスタイルへ購買行動の変化の兆しが出てきています。こうした中、増加し続ける訪日外国人の買物環境の整備を図ることで、幅広い買い物需要の喚起をはじめ下記のような効果が期待されます。

■ メーカー

- 外国人観光客や国内消費者が、自社の商品詳細情報ウェブサイトにアクセスする可能性が高まります。
- 外国人観光客に対して、メーカー発信の正確な商品情報を、極めて低コストで提供可能となります（改廃時にも一括対応が可能）。
- メーカーホームページの工夫次第で単なる商品情報だけでなく、動画での説明等につなげることができます。
- 外国人観光客に対する自社商品の購買促進につながります。
- 外国人観光客へ、商品の正しい使用・服用・摂取方法などの情報提供ができます。
- 得意先などからの個別の多言語化対応要請への対応が不要となります。
- 自社の商品情報に対するアクセスログ（参照情報）をマーケティング活動へ活用できます。

22

2. 事業概要

(3) 製・配・販それぞれの立場での期待効果

■ 卸売業

- 得意先などに対する個別の多言語情報提供業務が軽減されます。
- 卸企画製造商品に関しては、メーカーと同様の効果が期待されます。
- **アクセスログによるマーケティング活動への活用**ができます。
- メーカーによる自社商品の情報登録が進むことにより卸における商品登録業務が軽減されます。

■ 小売業

- 本取り組みによる共通インフラを利用することにより、極めて**低コストで外国人観光客への買物支援が可能**となります。
 - 外国人観光客の購買を店頭で促進し易くなります。
 - アクセスログによる販売活動への活用ができます。
 - **自社独自の仕組みによる店頭商品の多言語化対応や管理が不要**となります。
- (注) 小売業で、訪日外国人に、本サービスをご紹介される場合は、お店の取扱商品と当サービスで提供している商品カテゴリーの比較検討をお願いします。

23

2. 事業概要

(4) 2018年度末の概況

■ 商品情報 (2019年5月末時点)

- 商品基本情報：(企業数) 589社、(アイテム数) 140,528
- 商品追加(詳細)情報：(URL連携可能な企業数) 13社、
(URL連携可能なアイテム数) 1,709
- 会員企業：(14社) ライオン、I-ザイ、味の素、花王、サンスター、第一三共ヘルスケア、
田辺三菱製薬、三立製菓、マツモトヨシHD、武田コンシューマーヘルスケア、
L・チャーム、大正製薬、カネボウ化粧品、大鵬薬品工業

■ 活用状況 (2018年2月～2019年5月)

- ダウンロード数：約1,500
- アクセス数：約13,500

■ 提携状況

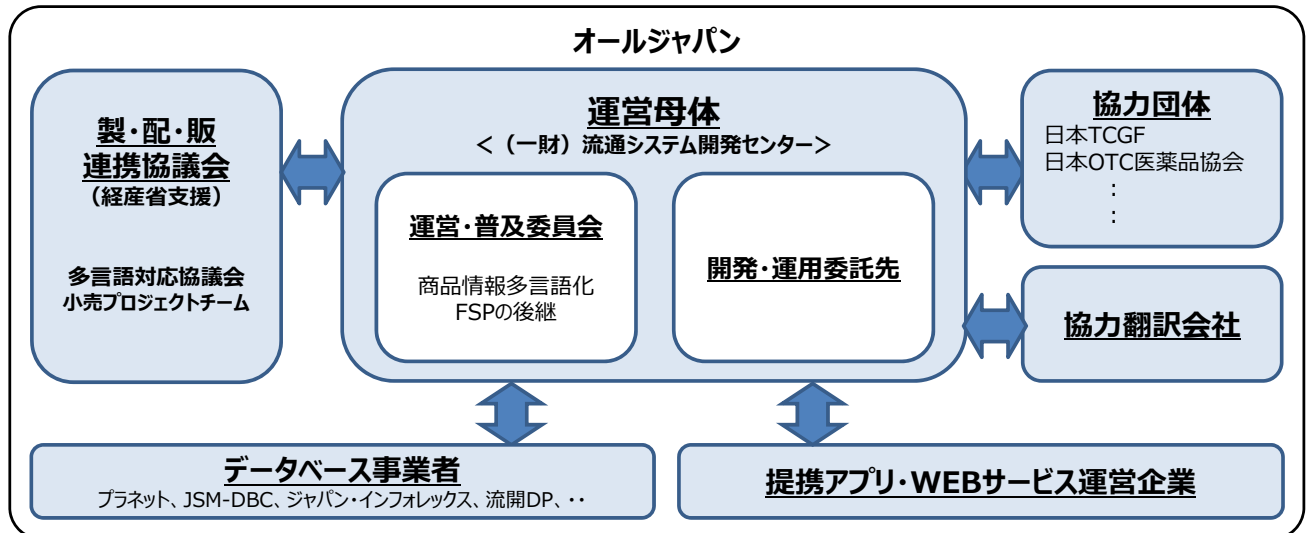
- 株式会社 P I J I N : QR Translator®
- X P A N D株式会社 : XPAND.CODES Reader JS
JANコードからQR Translator上の多言語ページにアクセスすることが可能になる。また、専用アプリ「Mulpi」と同じ商品情報データを専用アプリなしで情報取得できる環境が提供できるようになる。

24

2. 事業概要

(5) 運用体制

- 運営・運用体制
 - 運営母体、開発・運用委託先、データベース事業者、提携アプリ運営企業
- 普及推進体制
 - 運営・普及委員会、製・配・販連携協議会、協力団体、データベース事業者
- 協力体制
 - データベース事業者、提携アプリ運営企業、協力翻訳会社

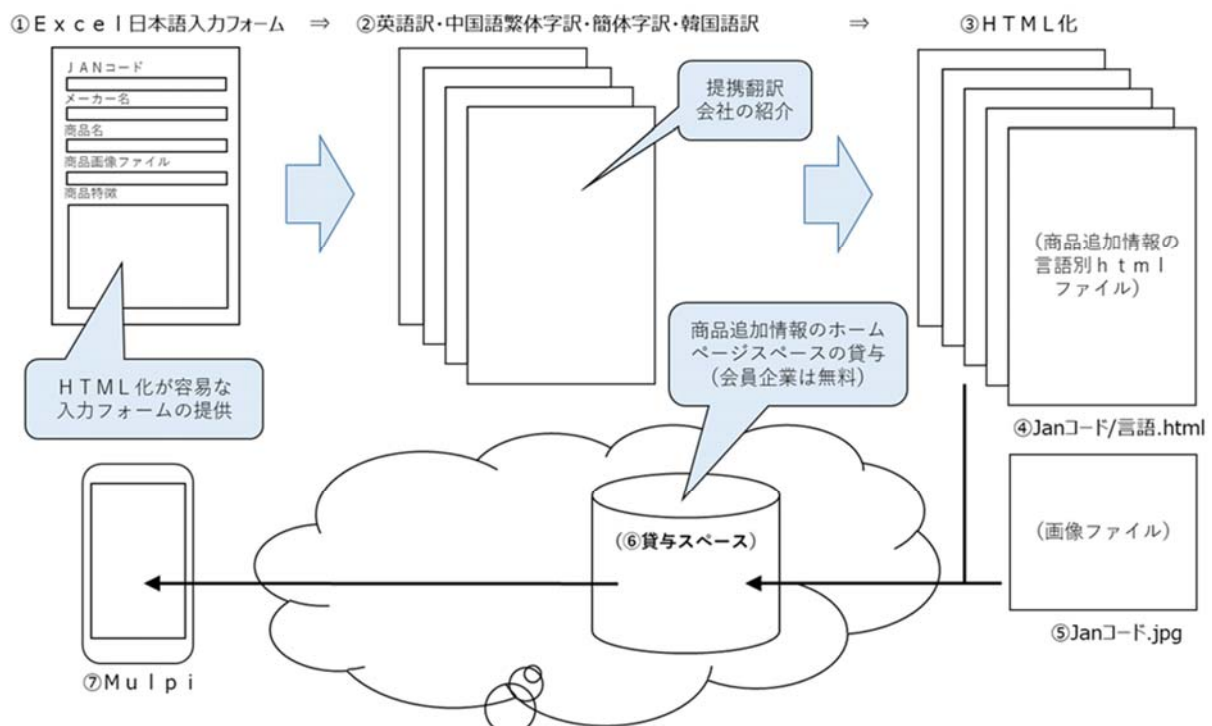


25

2. 事業概要

(5) 運用体制 : 協力翻訳会社との多言語ページ作成支援

- 2019年5月10日に協力翻訳会社説明会実施 (5社8名参加)



26

2. 事業概要

(補足) 協力翻訳会社との多言語ページ作成支援内容

- ① HTML化の容易な入力フォームにブランドオーナー企業に商品情報を日本語で用意いただきます。
商品特徴の内容は、商品特長、商品規格、使用方法、使用上の注意点など自由です。
- ② このフォームを契約に基づき、翻訳事業者は翻訳ないし翻訳支援（含むHTML化）して頂きます。
翻訳言語は契約に基づき、4言語全てでなくても結構です。
- ③ 翻訳結果をブランドオーナー側がHTMLページを用意できる場合は、ブランドオーナー側がブランドオーナーの用意する環境に作成します。ブランドオーナー側がHTMLページを用意できない場合、事務局が用意するHTML化の容易な入力フォームに翻訳企業（又はブランドオーナー）が入力し、事務局がHTML化します。
- ④ ファイル名は、J a nコード言語.htmlなどの形式で願います。例：4912345678904en.html
- ⑤ 画像ファイルは、GIF、JPEG、PNG、BMPのいずれかのファイル形式が可能です。
ファイル名は、J A Nコード.jpgなど。例：4912345678904.jpg
- ⑥ 多言語商品情報ホームページは、ブランドオーナー企業のホームページに掲載すること以外に、ブランドオーナー企業が、多言語商品情報プロジェクトに入会された場合に限り、多言語商品情報プロジェクトのクラウド上のスペースを無料で貸与することも可能です。
- ⑦ ブランドオーナー企業が、多言語商品情報プロジェクトに入会された場合は、クラウド上の多言語商品情報にリンクすることが出来ます。

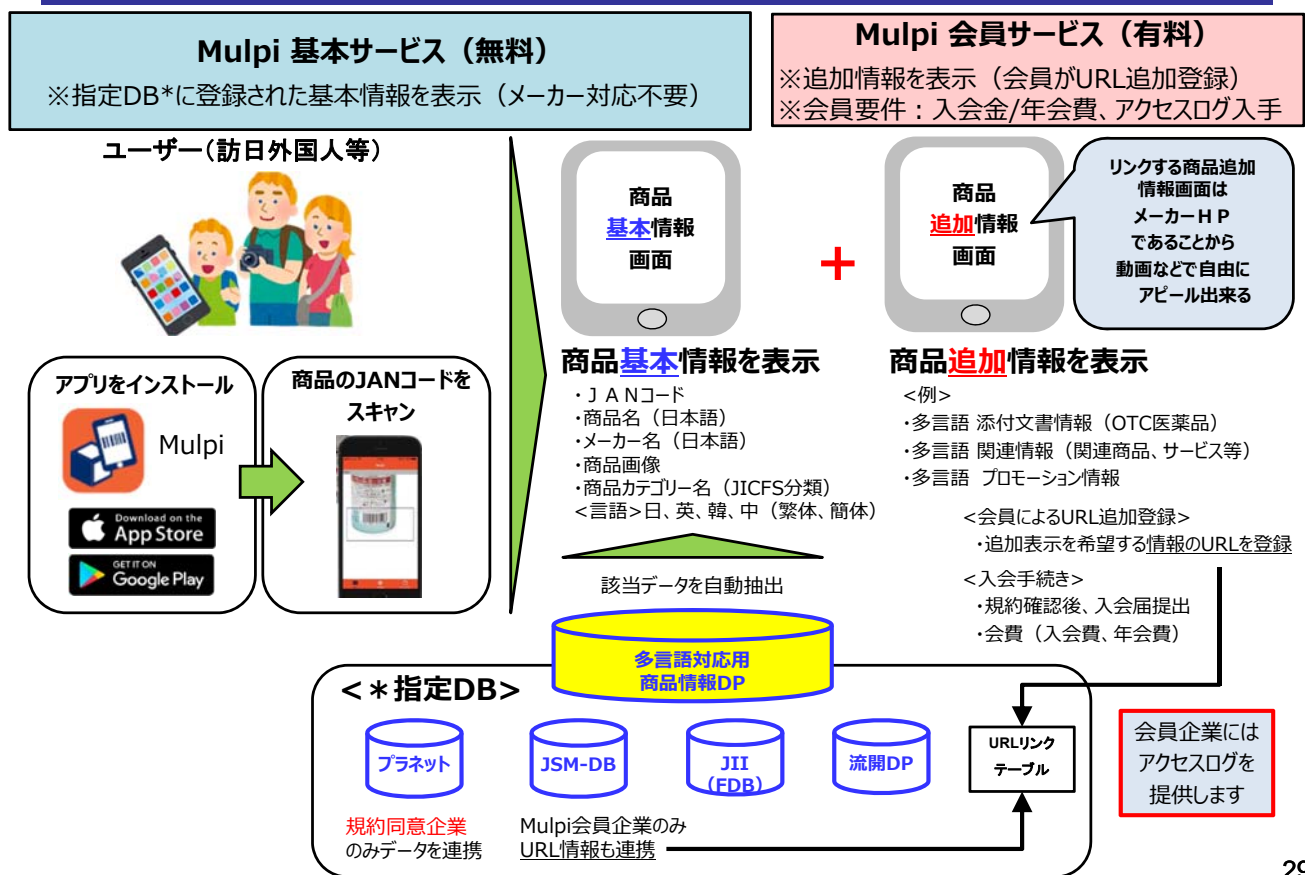
27

3. 会員制度

28

3. 会員制度

(1) 全体概要と会員サービス



29

3. 会員制度

(2) 問い合わせ先など

- 入会条件：業界DBまたは流開DPに自社商品情報を登録している
(業界DBからの情報連携は無料)
：自社Webサイトに多言語による商品別商品情報を保有しリンクを希望
(リンクは、入会が前提)
- 会 費：入会費 (20万円)、年会費 (10万円) システム開発費、運用費、諸経費などに充当
＜但し、中小企業基本法の定義による中小企業は、
入会費 (4万円)、年会費 (2万円) ＞

【問い合わせ先】製・配・販連携協議会 多言語商品情報プロジェクト事務局 e-mail : scic@dsri.jp

ホームページ : <http://www.dsri.jp/forum/pro.html>

注) 多言語商品情報プロジェクトは、製・配・販連携協議会 (経済産業省支援) のもと、
(一財) 流通システム開発センターと (公財) 流通経済研究所が事務局となって運営しております。

3. 会員制度 (補足) 登録手順

①会員規約「多言語商品情報提供サービス規約」の確認

http://www.dsri.jp/forum/pdf/terms_of_mulpi.pdf



②会員申込は、

「多言語商品情報提供サービス 入会申込書」に

http://www.dsri.jp/forum/pdf/Application_for_membership.docx

記入捺印の上、PDFをscic@dsri.jp宛て送付頂くか
FAX(03-5414-8513)送付願います。

なお、その際、名簿管理精度向上のために、入力済
ワード・ファイルを、scic@dsri.jp宛てに送付願います。



③指定フォーマットに、

http://www.dsri.jp/forum/pdf/product_url_entry_file.xlsx

多言語による商品詳細情報が掲載されたホームページ
URLを登録頂き、scic@dsri.jp宛てに送付願います。

(全ての言語が、揃っていないとも登録可能です。)



④入会金と年会費の請求書をお送りしますので、

入金手続きをお願いします。

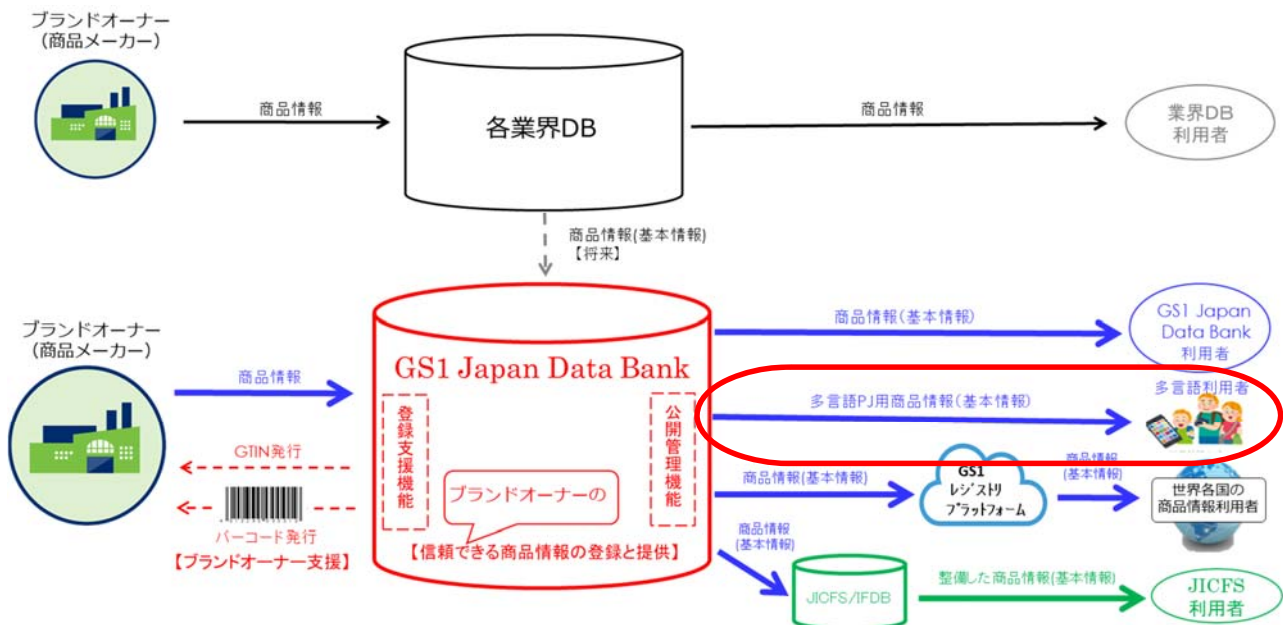
The image displays two documents related to the registration process. On the left is the 'Application for Membership' form, which includes sections for personal information (Name, Address, Contact Info), company information (Company Name, Address, Contact Info), and a declaration of interest. On the right is the 'Product URL Entry File' spreadsheet, which is a table with columns for Product Name, URL, and other details. The spreadsheet is used to provide product information in multiple languages.

4. 今後の構想

4. 今後の構想

GS1 Japan Data Bank

■GS1 Japan Data Bankと連動して、基本商品情報の充実を目指していきます。



33

おわりに

当事業は訪日外国人客の多くが買い物時に不満を感じる商品情報の言語問題を解決しようとするオールジャパンの取り組みです。

JANコードをベースに、多言語商品情報を提供するデータベースを開発、アプリを利用し、大変安いコストで、多言語化の取り組みが推進できます。

取り組みの成否は、参画いただける企業様の多さと、店頭におけるソースマーキングされた商品多言語化情報の蓄積にかかっています。

ぜひ各社のご参画をいただき、今後も増大し続ける訪日外国人客への買い物支援を、オールジャパンの取り組みとして強力に推進したいと考えます。よろしくお願い申し上げます。

34